

静岡

## J3アスルクラロ沼津 ホームスタジアムの照明改修へ

アスルクラロ沼津は、1990年の法人設立以降30年以上に渡り県東部の子供たちを育ててきた総合型地域スポーツクラブです。2017シーズンにはサッカートップチームが県東部唯一のJリーグクラブとなり、そのシーズンには3位になるなど、優勝争いを演じて、J2昇格への期待も大きなものがありました。

しかし、直近ではホームスタジアム・県営愛鷹広域公園多目的競技場(愛鷹競技場)の夜間照明の改修ができなければ来シーズン以降のJ3ライセンスの喪失という危機に直面していました。幸いにも大変多くの方々の支援を受けて改修に至る見込みとなりました。照明改修だけではJ2基準は満たせませんが、多くの支援を受ける中での取り組みにより改修資金約1億円が集まりました。同クラブはこれを機に、クラブの成長と地域社会・経済へのフィードバックを目指す方針を打ち出しています。ここではこれまでの経緯をご紹介します。

愛鷹競技場は開設から20年以上が経過し、2017年時点では改修の実現性もわからない状況でした。そうした中、沼津市からの複数回の専門調査を経て次の項目が改修点として浮上し、調整や技術的検討が進められてきました。

- ①観客席増加(現在の5千席から8千席に)
- ②大型映像装置設置  
(2022年に静岡県が電光掲示板から更新済)
- ③観客席すべてを覆う屋根設置  
(ドーナツ型に一周覆う屋根)
- ④夜間照明照度向上  
(現在の500ルクスから1,500ルクスに)
- ⑤諸室整備  
(ドーピング検査室、審判用シャワー・更衣室、医務室)
- ⑥トイレの洋式化・増設(静岡県が実施済)

照明基準の1,500ルクスは愛鷹競技場の想定する必要照度をはるかに超える水準(通常250ルクス以下で運用)であり、J3ライセンスの喪失期限も迫る中、興行上必要とされる改修はクラブが実施し、その後、県へ譲渡して管理を願うものとなりました。

沼津市の大規模な専門調査で技術的課題も昨年秋には概ねクリアでき、今年2月からは「ホームスタジアム照明改修プロジェクト」がスタートしました。

クラウドファンディングでは目標を大きく超える4千万円が集まり、サイト手数料やリターン経費を除いても約2,600万円となったほか、クラブには直接の寄付が約900万円、沼津市企業版ふるさと納税には多くの企業から4,500万円弱の申込みがありました。沼津市議会の6月定例会では改修補助金2千万円の補正予算が議決され、これで目標の1億円に到達しました。多方面の方々からの支援や、尽力があつてこそ成し遂げられたものといえるでしょう。

改修は約330灯の投光器をすべてLED投光器に交換するもので、今年秋に予定しています。消費電力が大幅に下がり、これまでの利用料金であれば相対的に以前より明るい状態で利用できるほか、設備の長寿命化など、県東部のスポーツ環境向上にも寄与するものです。

同クラブでは、これまで愛鷹改修の見通しが立たなかったこともあり支援者への活動全般や成長についての報告も不十分であったとの考えから、今後はクラブの様々な取組みをオープンにして、経営改善やJ2への方策も同時に進めていくとのことです。今後も地域と共に走っていくアスルクラロ沼津に期待しましょう。

アスルクラロ沼津 公式HP <https://www.azul-claro.jp/>



©2017 azul claro / Toshiro Suzuki

ホームスタジアムの県営愛鷹広域公園多目的競技場(愛鷹競技場)